Acronis Backup 11.5

簡単 P2V ガイド

2015年4月1日 ver1.0[初版]

移行対象マシンにおけるイメージ作成手順

- 1. 光学ドライブに Acronis ブータブルメディアをセットして、マシンを起動します。
- 「AcronisBackup (64 ビット、UEFI サポート付き)」をクリックします。
 ※旧式の32 ビットマシンの場合は、「Acronis Backup (32ビット)」をクリックしてください。



3. 必要に応じて、「ネットワークを設定しています...」をクリックし、ネットワークの設定を行ってください。 必要が無い場合には、「このコンピュータをローカルで管理」をクリックします。





4. 「今すぐバックアップ」をクリックします。

🔗 Aeronis Backup - root としてこのコンピュータに接続(ローカル接続)	
◎ ◎ ※ アクション・ ※ ツール・ 圖 ナビゲーション・ ◎ ヘルプ・	Acronis
'localhost' へようこそ コンソールは管理対象のコンピュータに接続されます。実行するアクションまたは使用するツールを選択してください。	
今すぐバックアップ バックアップ ロケーションを指定し、今すぐ コンピュータのバックアップを開始します。	
アクション	
🍯 Universal Restore の適用 だ 格納域の参照	
ナビゲーション	
🚾 テープ管理 🕹 ディスクの管理 🗾 ログ	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

5. バックアップタスク作成画面が表示されます。

「バックアップの対象」-「バックアップする項目」をクリックします。

😵 Acronis Backup - root としてこのコンピュータに接続(ローカル接続)	×
	Acronis
今すぐバックアップ バックアップ ロケーションを指定し、今すぐコンピュータのバックアップを開始します。	
バックアップする項目 選択解除 ● ディスク/ボリューム: ● 支出 選択解除 ● ディスク 1 localhost	
◎ 除外の表示	
1 バックアップの保存先	
ロケーション 必須	
◎ アーカイブのコメントの表示	
<u>◎</u> バックアップ方法	-
バックアップの種類: 完全 ▼	
ベリファイ: オフ マ	
「」 パラメータ	
バックアップ オプション	
OK キャンセル	



6. バックアップ対象となるディスクまたはパーティションを選択します。

「OK」をクリックして画面を閉じます。

(デフォルトでは全てのローカルディスクが選択されています。)

≫ ハックアップするテータ				
バックアップするデータを選択してください				
バックアップするデータ: ディスク/ボリューム ▼ ▲ ■● localhost ▶ 図 ♥ ディスク 1	 ディスク 1 ✓ ボリューム ▲ ✓ C: ✓ システムで予約済み (F:) 	種類 容量 プ 59,66 GB プ 350 MB	空き領域 ファイ 31.89 GB NTFS 79.29 MB NTFS	<i>゚</i> ル システム
			OK 🔊	キャンセル

7. 「バックアップの保存先」-「ロケーション…」をクリックし、保存先を指定します。

😣 Acre	nis Backup - root としてこのコンピュータに接続(ローカル接続)	
\mathbf{O}	▼ 🛞 アクション▼ 욿 ツール▼ 🔤 ナビゲーション▼ 🥥 ヘルプ▼	Acronis
今すく バック	「バックアップ 「アップ ロケーションを指定し、今すぐコンピュータのバックアップを開始します。 「バックアップの対象	
	バックアップする項 置 選択解除 ◎ ディスク/ボリューム: ③ 選択解除 ◎ ディスク 1 localhost	
	 · · · · · · · · · · · · · · ·	
	バックアップの保存先	
	ロケーション	
	◎ アーカイブのコメントの表示	
0	バックアップ方法	
	バックアップの種類: 完全 ▼	
	ベリファイ: オフ 🗸	
	パラメータ	
	バックアップ <u>デフォルト</u> オプション	
	OK キャンセル	
L		

8. 「パス:」にバックアップを保存する共有フォルダのパスを入力し、「名前:」にバッアップファイルの名前を入力します。 「OK」をクリックして画面を閉じます。

※バックアップしようとしているディスクまたはパーティションと同じ場所を保存先として指定しないでください。

ロケーション
 ■ケーション ■ オルダの作成 ● 名前の変更 ● 削除 ● 個人用 ● ローカル フォルダ ● 本ットワーク フォルダ ● NFS フォルダ ● FTP サーバー ● SFTP サーバー ● ストレージ ノード ● テープ デバイス
名前: Backup
OK 🛓 キャンセル

9. 画面右下の「OK」をクリックし、バックアップタスクを開始します。

😣 Acr	onis Backup - root ≽	:してこのコンピュークに接続(ローカル接続)	
	💌 🔗 アクション・ 🖇	§ツール• 霝ナビゲーション• ◎ ヘルプ•	Acronis
今すく	ぐバックアップ ケアップ ロケーション	を指定し、今すぐコンピュータのバックアップを開始します	
	バックアップの対象		
	バックアップする項	避理解除 ● ディスク/ボリュール・	
	B	$\mathbb{R}^{\mathbb{R}}$	
	ハックアップの保守		
	ロケーション	名前: Backup パス: W192.168.124.20\Share\P2V\(ネットワーク共有)	
	◎アクセス ログイン	情報、アーカイブのコメントの表示	
Ø	バックアップ方法		
	バックアップの種類:	完全 ▼	
	ベリファイ:	オフ・	
	パラメータ		
	バックアップ	デフォルト	
		OK キャンセル	

Acronis

10. バックアップ処理が開始されます。

8.1	「バックアップ 18	5/04/01 15:51:43″ 詳細				×
N	ックアップ計画	· バックアップ 15/04/01 15:51:43'	の	詳細を表示		
	詳細 進行状	況 履歴 バックアップの対象	1	、ックアップ先	設定	
1	名前:	バックアップ 15/04/01 15:51:43		次回の開始時刻	:	
C	ロケーション:	ローカル		所有者:	root	
5	実行状態:	20% 実行中		速度:	25 MB/秒	
5	ステータス:	OK		前回の結果:	-	
禾	睡頂:	バックアップ計画		スケジュール:	手動	
首	前回の開始時刻:	15/04/01 16:05:54		コメント:		
甫	前回の完了時刻:					
					停止	

11. 完了すると正常終了と表示されます。

「閉じる」をクリックして画面を閉じます。

	😣 "ディス	クのバックアップ 詳細	X	
No Mark	アクティヒ	ビティ 'ディスクのバックアップ'の詳細の表示		53
15.47	言紙	バックアップの対象 バックアップの保存先 ログ	- 1	
	名前:	ディスクのバックアップ		
手利 へ 詳細	說明:	'バックアップ [®] コマンドは、指定したロケーションに指定したデータをバッ クアップします。		
名前	開始日:	15/04/01 16:05:54	-	
	終了日:	15/04/01 16:16:03	-	
このヒ	時間:	10 分 9 秒		
	結果:	正常終了		
			-	閉じる …
		- 閉じる 💦		

これでイメージ作成は完了です。

ブータブルメディアを取り出し、マシンを停止してください。



移行先へのイメージ展開手順

1. 仮想環境上で仮想マシン(後で OS をインストールする)を作成します。



- 2. 仮想マシンを Acronis ブータブルメディアから起動します。
- 3. 「AcronisBackup(64 ビット、UEFI サポート付き)」をクリックします。

※旧式の32 ビットマシンの場合は、「Acronis Backup(32ビット)」をクリックしてください。



4. 必要に応じて、「ネットワークを設定しています...」をクリックし、ネットワークの設定を行ってください。

必要が無い場合には、「このコンピュータをローカルで管理」をクリックします。

😵 Acconis ブークブル エージェント	
Acronis ブータブル エージェント	
このコンピュータをリモートまたはロー 理するには、Acronis Backup 管理コンン IP アドレスを参照してくたさい)。	カルで管理することができます。リモートで管 リールをこのコンピュータに接続します(下の
このコンピュータをローカルで このコンピュータのデータのバッ ことができます。	きまた。 ククアップと復元、および他の処理を実行する ▶
ホスト名: localhost IP アドレス: 192,168,124,138	ネットワークを設定しています
マウス キーをオンにすると、テンキーを キー + M キーまたは F10 キーを押すと	と使用してマウス ポインタを動かせます。Ctrl 、テンキーを使用してポインタを動かせます。
[電源をオフにする 再起動



5. 「復元」をクリックします。

🗴 Acconis Backup - root としてこのコンピュータに接続(ローカル接続)	
◎ ◎ ※ アクション・ ※ ツール・ 躍 ナビゲーション・ ◎ ヘルプ・	Acronis
'localhost' へようこそ コンソールは管理対象のコンピュータに接続されます。実行するアクションまたは使用するツールを選択してください。	
今すぐバックアップ バックアップ ロケーションを指定し、今すぐ コンピュータのバックアップを開始します。 復元 以前に作成されたバックアップ からデータを復元します。	
アクション	
🚯 Universal Restore の適用 📂 格納或の参照	
ナビゲーション	
🚾 テープ管理 🚕 ディスクの管理 🗾 ログ	

6. 復元タスク作成画面が表示されます。

「復元元」-「データの選択…」をクリックします。

♦ Acronis Backup - root としてこのコンピュータに接続(ローカル接続)	×
③ → ※ アクション・ ※ ツール・ 圖 ナビゲーション・ ◎ ヘルプ・	Acronis
データの復元 ページの下部にある [OK] をクリックするとすぐに復元が開始されます。	
データの選択 タスク	
【 ↓	
OK キャンセル	



7. 「パス:」にバックアップが保存されている共有フォルダのパスを入力します。

「OK」をクリックして画面を閉じます。

※ ロケーションの参照		X
┃ バックアップ データが存在する場所を選択		
 マォルダの作成 ● 名前の変更 ■ 削除 ● クラウド ストレージ ● 個人用 ● ローカル フォルダ ■ スットワーク フォルダ ■ ASD ■ 192,168,124,20 ● Share ● NFS フォルダ ■ FTP サーバー ■ SFTP サーバー ■ SFTP サーバー ■ ストレージ ノード ■ テープ デバイス 	P2V 共有ネットワーク フォルダ	
パス: \\192,168,124,20\Share\P2V\		€
	OK キャンセル	

8. 「アーカイブビュー」から保存済みのバックアップデータを指定し、「OK」をクリックします。

	•							
復元対象の選択								
「データ ビュー」を参照	烈し、復元する正確 ビュー」で	権なファイ」 必要なバック	レ、フォルダ、ボリ クアップ データをき	ューム、また	はディスクを	選択します。	。または、	「アーカイブ
データ パス: W192,168	.124.20\Share\P2V	1						参照
データ ビュー・フ	マーカイブ ビュー							
表示: すべてのアーカ	イブ ▼							€更新
アーカイブ名	所有者 ロケー	ション 作	乍成 🔺	使用領域	バックア	. Ny	コメント	
4 💐 Backup	localho	ost 19	5/04/01 16:06:11	22.74 GB	27.34 GB			
◎ バックアップ #1		15	5/04/01 16:06:11	22 . 74 GB	27.34 GB	完全		
▲ アーカイフとハック〕								
 アーカイフとハック: バックアップ内容: 	アップの非天式 リューム マ							
◎ アーカイフとハック: バックアップ内容:ボリ ボリューム	ノューム ▼ 種類	容量	空き領域	ファイル	システム			
 ○ アーカイフとハック: バックアップ内容:ボリ 「ボリューム ▲ 図 MBR 	トックの非 入示 リューム ▼ 種類	容量	空き領域	ファイル	システム			
 ○ アーカイフとハック? バックアップ内容:ボリ ボリューム ■ MBR ■ ディスク1 	トックの非 な示 リューム マ 種類	容量	空き領域	ファイル	システム			
 ○ アーカイフとハック: バックアップ内容:ボリ ボリューム ■ MBR ■ ディスク1 ■ ペーシック 	トップの非な示 リューム ▼ 種類	容量	空き領域	ファイル	システム			
 ○ アーカイフとハック: バックアップ内容:ボリ ボリューム ◎ MBR ◎ ディスク1 ◎ ベーシック ◎ システム 	プライマリ,	容量 350 MB	空き領域 79.29 MB	ファイル NTFS	システム			
 ○ アーカイフとハック: バックアップ内容:ボリ ボリューム ▼ MBR ▼ ディスク1 ▼ ペーシック ▼ ペーシック ▼ システム ▼ MIFS (C:) 	プライマリ, プライマリ	容量 350 MB 59,66 GB	空き領域 79.29 MB 31.89 GB	ファイル NIFS NIFS	システム			
 ○ アーカイフとハック: バックアップ内容:ボリ ボリューム ▼ MBR ▼ ディスク1 ▼ ペーシック ▼ ペーシック ▼ システム ▼ NIFS (C:) 	プライマリ, プライマリ	容量 350 MB 59,66 GB	空き領域 79.29 MB 31.89 GB	ファイル NIFS NIFS	システム			
 ○ アーカイフとハック: バックアップ内容:ボリ ボリューム ● MBR ● ディスク1 ● ベーシック ● ヘバFS (C:) 	プライマリ, プライマリ	容量 350 MB 59.66 GB	空き領域 79,29 MB 31,89 GB	ファイル NIFS NIFS	システム			
 ○ アーカイフとハック: バックアップ内容:ボリ ボリューム ● MBR ● ディスク1 ● ベーシック ● ベーシック ● NTFS (C:) 	プライマリ, プライマリ	容量 350 MB 59,66 GB	空き領域 79,29 MB 31.89 GB	ファイル NTFS NTFS	システム			
 ○ アーカイフとハック: バックアップ内容:ボリ ボリューム ◎ MBR ◎ ディスク1 ◎ ベーシック ◎ ベーシック ◎ システム ◎ NIFS (C:) ◎ システム ボリュー, い。 	プライマリ, プライマリ, プライマリ	容量 350 MB 59,66 GB よ、復元され	空き領域 79.29 MB 31.89 GB	ファイル NTFS NTFS 動可能にする	システム	スクの MBR	· も復元し	τ<τε
 ○ アーカイフとハック: バックアップ内容:ボリ ボリューム ② MBR ② ディスク1 ○ ベーシック ② ベーシック ② ペーシック ◎ システム ⑨ ● NIFS (C:) ③ システム ボリュー, い。 	プライマリ, プライマリ, プライマリ	容量 350 MB 59,66 GB よ、復元され	空き領域 79.29 MB 31.89 GB れたボリュームを起	ファイル NTFS NTFS 動可能にする	システム	スクの MBR	も復元し	τ<τε



9.「復元先」の下に、復元するボリュームが自動的に登録されます。

問題がなければこのまま、変更したい場合はプロパティをクリックします。

	😣 Acronis Backup — root	t としてこのコンピュークに接続(ローカル接続)	
デージの下部にある [DK] をクリックするとすぐに復元が開始されます。 復元元 デージの選択 選択解除 『 マスク – ブート レコード: 1 MBR (0 GB) 選択解除 『 マスク 1 (ペーシック、 MBR 60 GB) 選択解除 『 オスク 1 (ペーシック、 MBR 60 GB) 選択解除 『 オスク 1 (ペーシック、 MBR 60 GB) 選択解除 NTFS (C:) 選択解除 NTFS (C:) 選択解除 システムで予約済み (F:) 復元先 復元先 復元先 復元先 復元先 7 マイク 1' の 復元 先 第書 ディスク 1 MSR 'ディスク 1' の 復元 先 第書 ディスク 1 MSR 'ディスク 1' の 復元 先 「 数 ディスク 1 / シグネチャンドの NT シグネチャンと異なる場 合にのみ 新しい MT シグネチャン特殊をわます。それ以外の場合 は、既存の ジグネチャンが保持をおます。それ 「 い デ チャンク 1 / システム で予約済み (F:) アロ パ ディスク 1 / システム で予約済み (F:) アロ パ ディ、 サイズ: 50.06 (昭(元のサイズ)、ファイル システム: MTES、ドライブ文学: D * NUFES (C:)' の復元 先 * NUFES (C:)' の復元 第書 ディスク 1 / NTES (D:) アロ パ ディ サイズ: 50.66 (昭(元のサイズ)、ファイル システム: MTES、ドライブ文学: D クスク	G 🕞 🖗 アクション・	・ ※ツール・ 墨ナビゲーション・ @ヘルプ・	Acronis
 データの選択) 選択解除 @ マスター ブート レコード: 1 MBR @ 選択解除 ◎ ボリューム: 2 ボリューム @ 選択解除 ◎ ボリューム: 2 ボリューム @ 選択解除 ◎ ボリューム: 2 ボリューム @ 選択解除 ◎ ボリューム @ 選択解除 ◎ ボリューム @ 選択解除 ◎ ボリューム @ 選択解除 ◎ ボリューム @ 選択解除 ◎ ボリューム @ 選択解除 ◎ ボリューム @ 選択解除 ○ ボリューム @ ア ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	データの復元 ページの下部にある [OK]]をクリックするとすぐに復元が開始されます。	
選択解除 ● ボリューム: 2 ボリューム ● 選択解除 NTFS (C:) 選択解除 システムで予約済み (F:) 復元先 「なべて消去 「なべて消去 「すべて消去 「取た 「満去 ディスク 1 「別子 キャン 「動助に選択 * ● 既存の NI シグネチャ: 自動的に選択 * ● 既存の NI シグネチャがバックアップ内の NI シグネチャと異なる場合にのみ 新しい NI シグネチャが保持されます。 「システムで予約済み NL:) NI シグネチャが保持されます。 「システムで予約済み NL:) NI シグネチャが保持されます。 「システムで予約済み II」 「ホー、サイス: 350 № (元のサイス)、ファイル システム: 「NTFS (C:)'の領元 消去 ディスク 1 / NTFS (D:) プロパティ・ サイズ: 59,66 (金 (元のサイス)、ファイル システム: 「NTFS (C:)'の領元 消去 ディスク 1 / NTFS (D:) プロパティ・ サイズ: 59,66 (金 (二元のサイズ)、ファイル システム: 「NTFS (C:)'の領元 消去 ディスク 1 / NTFS (D:) プロパティ・ サイス: プロパティ・ NTFS、ドライブ文字: D タスク	データの選択	選択解除 ◆ マスター ブート レコード: 1 MBR 選択解除 ディスク 1 (ベーシック、MBR 60 GB)	
復元先 復元先: 物理コンピュータ・ 「なべて消去 「すべて消去 「照R.'ディスク1'の 消去 ディスク1 「取 ジグネチャ: 自動的に選択 * (*) 受方た (*) 受方キケット(************************************		選択解除 ◆ ボリューム: 2 ボリューム 選択解除 ◆ ボリューム: 2 ボリューム ● 選択解除 NIFS (C:)	
Ideal 初生コノビューダ・ すべて消去 すべて消去 「照れていいいい」 消去 ディスク 1 「「シブネチャン: 自動的に選択 * ③ 既存の NT シグネチャかパックアップ内の NT シグネチャと異なる場合にのみ、新しい NT シグネチャか保持されます。 今日の ガ シグネチャか保持されます。 ジステムで予約済 み (F:) の認定で、 消去 ディスク 1 / システムで予約済み (F:) アロパティ サイズ: 350 他(元のサイズ)、ファイル システム: NTFS、ドライブ文字: F 'NTFS (C:)'の復元 先 ガムク シスク	復元先 復元先-		
(1) 「「「システム」」」 (1) シグネチャ: 自動的に選択 ▼ (1) 既存の NT シグネチャがパックアップ内の NT シグネチャと異なる場合にのみ 新しい NT シグネチャが作成されます。それ以外の場合 は、既存のシグネチャが保持されます。 (2) 「システムで予約済み」 (3) 消去 ディスク 1 / システムで予約済み (F:) アロバティ サイズ: 350 NB(元のサイズ)、ファイル システム: NTFS (C:)'の復元 (1) 消去 ディスク 1 / NTFS (D:) アロバティ サイズ: 59,66 GB(元のサイズ)、ファイル システム: NTFS、ドライブ文字: D タスク (N) ちゃいたル	MBR 'ディスク 1'	+//理コンビュータ ◆ すべて消去 の 消去 ディスク 1	
 ・システムで予約済 み(F:)'の復元た・・ パロパティ・・・サイズ:350 №(元のサイズ)、ファイル システム: NTFS、ドライブ文字:F 'NTFS (C:)'の復元 洗・・・ パボディー・サイズ:59.66 ㎝(元のサイズ)、ファイル システム: NTFS、ドライブ文字:D タスク 	復元先	 Ⅲ シグネチャ: 自動的に選択 ▼ ① 既存の № シグネチャがバックアップ内の № シグネチャと異なる場合にのみ、新しい № シグネチャが作成されます。それ以外の場合は、既存のシグネチャが保持されます。 	
'NTFS (C:)' の復元 消去 ディスク 1 / NTFS (D:) 先 アロパティ サイズ: 59.66 (田(元のサイズ)、ファイル システム: NTFS、ドライブ文字: D タスク	・システムで予約 み(『:)、の復元う ・	済 満去 ディスク 1 / システムで予約済み (F:) プロパティ サイズ: 350 MB(元のサイズ)、ファイル システム: MTFS、ドライブ文字: F	
	'NIFS (C:)'の役 先・・	复元 消去 ディスク 1 / NTFS (D:) プロパティ サイズ: 59,66 臼(元のサイズ)、ファイル システム: NTFS、ドライブ文字: D	
	タスク		
		OK キャンセル	

10. 画面を下へスクロールして、Universal Restore for Windows を「使用する」に設定します。 画面右下の「OK」ボタンをクリック、復元処理が開始されます。

😵 Acronis Backup - root としてこのコンピュークに接続(ローカル接続)	×
	Acronis
「データの復元 ページの下部にある [OK] をクリックするとすぐに復元が開始されます。	
929	
復元オプション デフォルト	
Universal Restore for Windows	
Universal Restore for Windows:	
○ _ 自動ドライバ検索	
リムーバブル メディ ┃ オン ▼ アの検索:	
フォルダの追加 Acronis Universal Restore によって、指定した HAL、大容量記憶装置、 およびネットワーク アダプタ ドライハの場所が検索されます。	
インストールする大容量記憶装置ドライバ	
オペレーティング システム:	
🔿 Windows Server 2012 R2 / 6.3.0	Ξ
ドライバの追加 RAID、ファイバ チャネル アダプタなどの大容量記憶装置コントローラの ドライバを指定します、このオプションは、自動ドライバ検索を行ってシ ステムを起動できない場合にのみ使用します。	
	Ŧ
OK (キャンセル)	
	14



11. 復元処理が完了すると、正常終了と表示されます。

「閉じる」をクリックして画面を閉じます。

8	'復元_1'詳細					
タスク '復元_1'の詳細を表示						
	タスク バック	アップ 設定 履歴				
	名前:	復元_1	スケジュール:	手動		
	実行状態:	アイドル	前回の結果:	正常終了		
	ステータス	OK	前回の完了時刻:	15/04/01 8:22:30		
	種類:	復元(ボリューム)	所有者:	root		
	元のロケーション:	ローカル	コメント:	復元タスク		
					閉じる	

これで復元(P2V)は完了です。

仮想マシンを OS から再起動してください。